



2022年6月20日

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR 部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

「Kubota Glass」米国で販売開始のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都千代田区、以下「当社」)は、当社の100%子会社のクボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州、以下「クボタビジョン」)が開発している「Kubota Glass」を米国で販売開始したことをお知らせいたします。

「Kubota Glass」の販売については、初期段階は、取り扱い眼科病院でのみ販売いたします。取り扱い眼科病院では、アフターケアを含めた「Kubota Glass」の処方全般を行なっていただく予定であり、現時点では、Manhattan Vision Associates (米国、ニューヨーク州、以下「MVA」)での取り扱いが確定しております。

今後も「Kubota Glass」の取り扱い眼科病院を増やすことで販路を拡大しつつ、将来的には、個人が直接購入できる仕組みを整えてまいります。

なお、「Kubota Glass」は、2021年5月には台湾衛生福利部 (Taiwan Food and Drug Administration : TFDA) にて、2022年6月には米国食品医薬品局 (Food and Drug Administration: FDA) にて医療機器登録を完了しております。

MVA は、これまでも複数の世界最大級の眼科製薬・医療機器企業の臨床試験・製品開発に参加している実績を持つ眼科専門の研究所であり、眼科病院です。同院のオーナーであるスティーブ・アリ博士は次のようにコメントしています。

「当院での臨床試験をもとに開発されてきた『Kubota Glass』が製品化されたことは非常に光栄です。臨床試験結果をご覧になった世界中の方々からお問い合わせを頂いております。米国で初めての取り扱い眼科病院として『Kubota Glass』を実際の患者さんに提供できることを大変嬉しく思います。」

“It is rewarding to see the culmination of our work now become commercially available. People from around the country have already begun to reach out to us based on our research studies, and we are excited to be the first practice in the US to be able to offer the device to our patients.”

米国で有名なオプトメトリストで、隔月でコラム「[Mastering Myopia](#)」を執筆しているブレット・オコナー



博士も以下のようにコメントしています。

「『Kubota Glass』の技術的な設計および性能による可能性から、現在、近視を含む視力障害に対する臨床試験を実施しています。私は同社のコンサルタントとして、『Kubota Glass』の臨床試験に携わり、皆さんに結果をお伝えできることを楽しみにしております。」

“Because of the technical design and capabilities of Kubota Glass, it is also currently undergoing clinical trials for evaluation of ocular conditions such as myopia. I am excited to be consulting with Kubota Vision on these trials, and to reporting the results as they become available.”

本件について、当社の代表取締役会長、社長兼最高経営責任者の窪田良博士は次のようにコメントしています。「いよいよ『Kubota Glass』が販売開始されることを嬉しく思います。今後も臨床試験を継続し、科学的エビデンスを積み上げつつ、製品の改良、販売の拡大を図ってまいります。」

本件による当社の2022年12月期連結業績予想への影響は、軽微であります。なお、2023年12月期通期連結業績予想に関しましては、2022年12月期連結決算短信に織り込む予定です。

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」においては、糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）、ウェアラブル近視デバイスの研究開発も手掛けております。（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。